

進路だより

No.3 令和6年2月27日
倉敷市立倉敷支援学校
進路指導担当

2024年になり2か月が過ぎようとしています。2024年は甲辰（きのえたつ）というそうです。甲（きのえ）は物事の始まり、辰（たつ）は成長して動きが盛んになる象徴とされています。2024年は「物事のはじまり」と「大きな成長」の年と言えそうです。何かを始めるきっかけの年、今まで積み重ねてきたものが大きく花開く年になるといいですね。

今年度も残すところ、あと1か月となりました。高等部3年生は、あとわずかです卒業し、社会人となります。そこで今号では、卒業時に行われる移行支援会議について紹介しようと思います。

☆移行支援会議とは？☆

高等部では、1月下旬から2月上旬にかけて3年生を対象として「移行支援会議」を実施しています。移行支援会議とは、文字どおり学校から卒業後の生活へと移行する橋渡しとなる大切な会議です。会議へは、図①に挙げている方々が参加され、図②の「個別の移行支援計画（2）」を提示しながら本人や保護者が説明をします。その後「将来の生活についての希望や必要と思われる支援の内容」を学校、進路先、関係機関とともに話し合い、卒業後の支援のネットワークを作っていくことを目的としています。

卒業後、学校は本人を支える一つの機関となります。主な役割は、1～3年に渡りアフターケア（職場訪問、本人の聞き取り）を行うことです。必要に応じて、進路指導主事や旧担任が関係機関と連携をとり、ケース会議などを行うこともあります。

【図① 会議への参加者】

- ・本人
- ・保護者
- ・担任
- ・進路指導主事
- ・行政（障がい福祉課）
- ・地域活動支援センター（I型）
- ・相談支援専門員
- ・ハローワーク
- ・障がい者就業・生活支援センター



【図② 個別の移行支援計画（2）】

倉敷市立倉敷支援学校		平年度	令和5年度
氏名	真藤 花子	女	生年月日 平成 19年 12月 5日
現住所	倉敷市大島2-△-〇	電話番号	086-4△△-84●●(自宅)
保護者(補填)氏名	真藤 健太郎(父)	住所	現住所と同じ
携帯手帳	日	その他の手帳	受給者証 無 障害支援区分
将来の生活についての希望 一人で自立して生活するために、料理などの家事ができるようになりたい。 ・お金を貯めてプレゼントをしたい。 ・会社の人と上手にコミュニケーションがとれるようになりたい。 ・会社の役に立てるようになりたい。			
必要と思われる支援(合理的配慮) 一人で暮らしができるように、食費管理など自立を目標とした支援を行う。 ・自分の気持ちを伝えながら、会社の人と円滑なコミュニケーションをとることができるよう支援する。			
機関	名称(連絡先)	担当者	支援内容
進路先	ダイヤクリーニング(数方継続支援A型) (086-421-9911)	大庭 崇忍員	作業内容について分かりやすく指示する。長く仕事が続けられるように、定期的に寄り添うか聞き取りを行う。
役所	児島保健福祉センター福祉課 (086-472-3855)		福祉サービスの申請や相談。
相談支援事業所	児島障がい者支援センター (086-472-3855)		必要なサービスについての情報の提供、訓練、サービス等利用計画書の作成、本人の相談による。
関係機関			
福祉サービス			
その他	ハローワーク児島(086-473-2411) 倉敷市障がい者就業・生活支援センター (086-434-3888)		仕事の相談や紹介、雇用保険の相談。 就業や日常・社会生活での支援・相談。
学校	倉敷市立倉敷支援学校 (086-425-4611)	楠 裕	アフターケア、関係機関との連携。

以上の支援について確認し、関係機関にこの書類を提出することになります。

令和 年 月 日

氏名

自筆・代筆